



中部電力

再生可能エネルギー有効利用システムの年間発電性能

エネルギーを有効活用して、 低炭素社会の実現に 貢献します

背景・目的

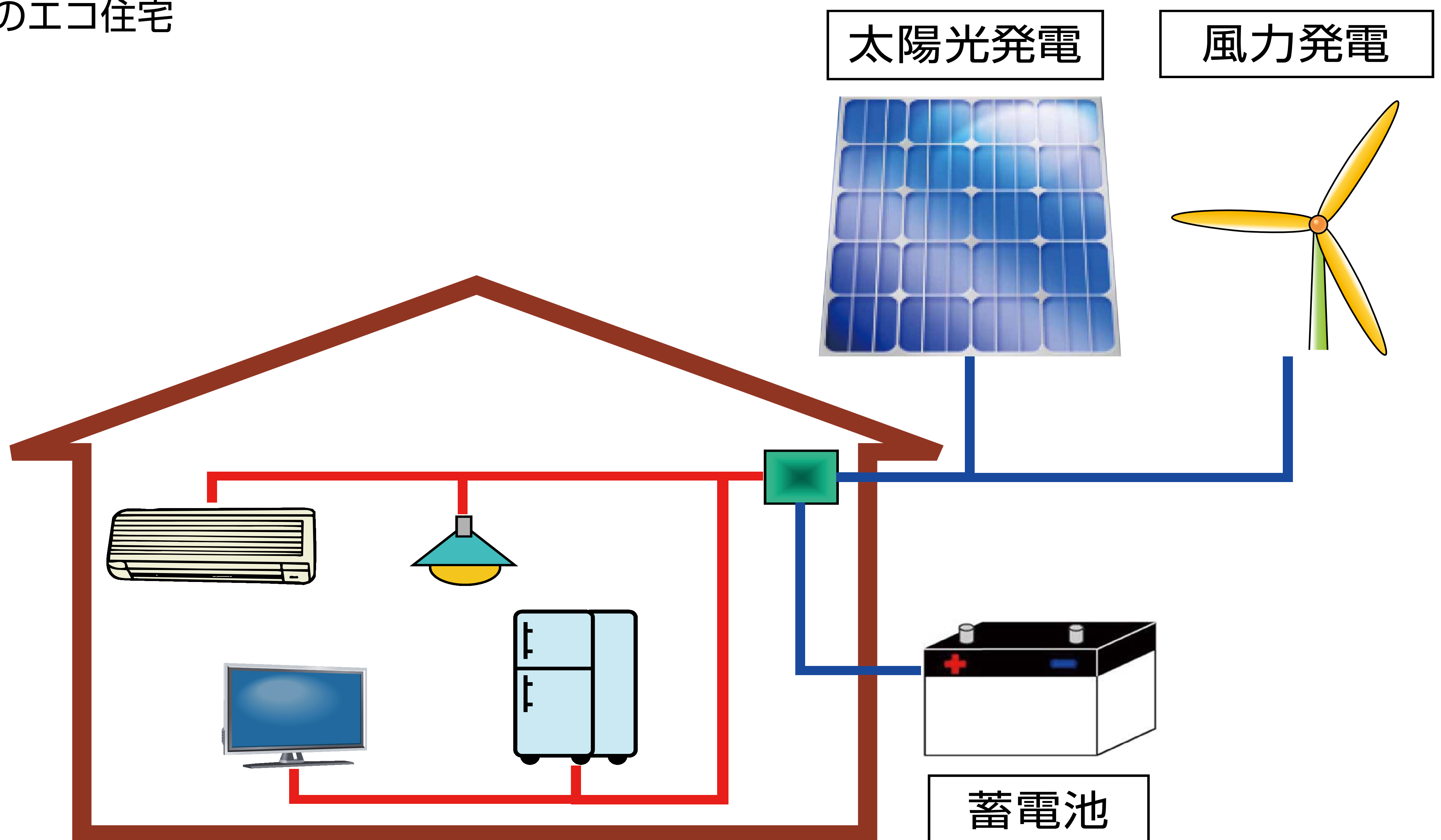
- 太陽光発電や風力発電等の再生可能エネルギーが大量に導入された場合、系統安定化対策の一つとして、再生可能エネルギーの出力抑制が検討されています。そこで、太陽光発電や風力発電を自家消費するための利用方法を検討するため、システムの年間発電性能を計測・評価しています。

特長

- 太陽光発電と鉛蓄電池を組み合わせたシステムを構築
- 狭い敷地でも太陽光発電が設置可能な多段式の架台を採用
- 風力発電は住宅向けとして比較的高出力な 1kW タイプを採用
- 様々な温度条件下で各種住宅設備の実負荷運転が可能

用途

- 将来のエコ住宅



開発者の ひとこと

豊田市では「家庭・コミュニティ型」低炭素都市構築実証プロジェクトとして、家庭に導入した省エネ・創エネ・蓄エネ機器を HEMS（家庭用エネルギー管理システム）により統合・制御し、電力系統への売電を行わず、家庭内での自家消費によりエネルギーの有効利用を目指しています。ここで得られた知見は、当社が参加している豊田市での実証プロジェクトに活用しています。